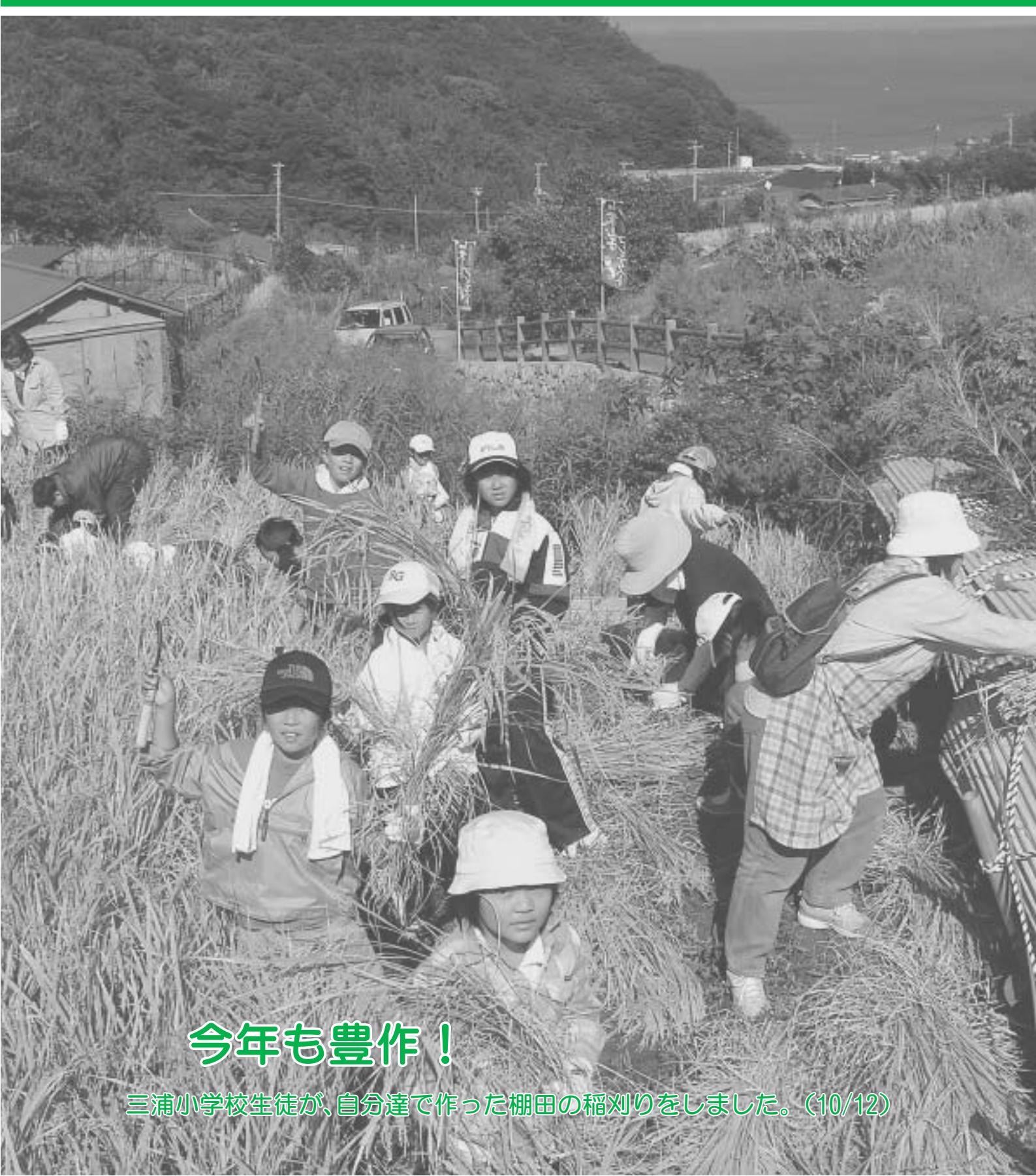


広報  
OC

# まつざき

2005  
(平成17年)  
11  
No. 498



今年も豊作！

三浦小学校生徒が、自分達で作った棚田の稻刈りをしました。(10/12)

# 今月一十七(日)は

## 松崎町長選挙の投票日です。

任期満了（十二月十三日）に伴う松崎町長選挙が、次の一とおり実施されます。

任期満了（十二月十三日）に伴う松崎町長選挙が、次のとおり実施されます。

重要な選挙です。

今後の町の指向性を決める重要な選挙です。  
皆さんの大切な一票を町政に生かすため投票に出掛けましょう。

### 投票場所 町内各投票所

※投票所入場券に該当する投票所が記載されていますのでお確かめのうえ投票所にお越し下さい。

### 持参するもの

#### 投票所入場券

告示日 十一月二十二日(火)  
投票日 十一月二十七日(日)  
時間 午前七時～午後七時  
(門野・三浦地区は午前七時～午後六時までとなりますのでご注意ください。)

※投票入場券が届かなかつたり、失くしたりした時でも、選挙人名簿に登録されれば投票できます。このときは、選挙管理委員会に連絡するか、当日、該当する投票所で申し出て下さい。

②投票時間  
午前八時三十分から午後八時

③投票場所  
生涯学習センター二階 小会議室

④期日前投票を行うことができる人

①昭和六十年十一月二十八日  
までに生まれた方  
②平成十七年八月二十一日ま  
でに住民になつた方  
③選挙人名簿に登録されてい  
る方

### 投票できる人

#### ○ミニ知識

投票所には、選挙人本人しか入れないわけではありません。小さなお子さんも親御さんと一緒にあれば大丈夫です。体の不自由な選挙人を介助する方の入場もできます。わからないことは遠慮なく投票所の係員にお聞きください。

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の理由により投票できない方。  
※投票の際には、宣誓書に列挙されている一定の事由の中から、自分に該当するものを選択します。

選挙管理委員会(四二)一一一

## 期日前投票制度

どうしても投票日に投票できな方は、期日前投票制度をご利用ください。

選挙は投票日（十一月二十七日）に、投票所において投票することを原則としていますが、期日前制度は投票日前であっても、投票日と同じく投票ができる制度です。

①投票期間  
開始（告示日の翌日）  
十一月二十三日（水）  
終了（投票日前日）  
十一月二十六日（土）

投票所入場券を持参すればスムーズに投票できます



宣誓書への記載



- ・病気見舞い
- ・葬式の花輪、供花
- ・落成式、開店祝いの花輪
- ・入学祝、卒業祝
- ・お中元、お歳暮
- ・祭りへの寄附や差入れ

#### ○禁止されている寄附（例）



【松崎町明るい選挙推進協議会】

## 寄附の禁止

選挙の有無に関わらず、政治家（候補者、立候補予定者）が選挙区内の人に寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めていません。冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので注意してください。

明るい選挙推進協議会では、「贈らない、求めない、受け取らない」という「3ない運動」を行っています。

# 町の財政運営シミュレーション

## 平成十七年度上半期における経費の節減実績

静岡県では、合併をした人口三万人未満の小規模自治体を対象に、今後十年間の財政シミュレーションを作成し公表しました。

松崎町の場合、今後歳入は

減少傾向になり、特に地方交付税が平成十九年度から大きく減少する見込みです。歳出

は、人件費や投資的経費を削減しても高齢化社会の進展に

より、福祉関係の扶助費や老人保健、介護保険事業への繰出金が増加するため、歳出が

歳入を上回る状況になります。

その結果、収入の不足分を

財政調整基金等の取り崩しで補うものの、平成二十年度には底をつけ平成二十一年度予算が組めない状況になる見込

です。  
このため、来年度以降の予算編成では、事業の見直しを含め一層の歳出削減を実施していくますが、最終的には合併の方向に進まざるを得ないです。

このため、来年度以降の予算編成では、事業の見直しを含め一層の歳出削減を実施していくますが、最終的には合併の方向に進まざるを得ないです。

(百万円)

### ●歳入の試算結果

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
歳入	地方税	778	778	786	828	825	822	819
	地方譲与税	55	70	70	40	40	40	40
	地方交付税	1,369	1,385	1,303	1,154	1,110	1,072	1,066
	国・県支出金	323	349	346	343	340	337	335
	繰入金	545	51	317	464	511	138	0
	地方債	385	308	288	266	258	251	247
	その他の歳入	753	784	419	412	414	416	418
	歳入合計	4,209	3,726	3,529	3,508	3,499	3,077	2,925
	人件費	829	822	816	800	793	786	786
	扶助費	222	223	223	223	224	224	225
歳出	公債費	490	470	464	462	462	382	391
	投資的経費	436	417	404	392	381	369	359
	その他の歳出	1,874	1,793	1,622	1,631	1,640	1,650	1,651
	歳出合計	3,851	3,726	3,529	3,508	3,499	3,412	3,412
	收支(歳入-歳出)	358	0	0	0	0	-335	-487
	基金残高	1,303	1,431	1,114	650	138	0	0

役場では、行財政改革の一環として、全職員を挙げて、庁舎内外における経費の節減に取り組んできました。その結果、今年四月から九月までの光熱水費や事務に係る経費が大幅に節減されました。主な内容は下の表のとおりですが、夏場にエアコンの使用時間や室温の管理を徹底したことにより灯油代や電気料金は前年比約二割減となり、コピー機やファックスの統合に伴う入れ替えにより、コピーにかかっていた料金も半額以下になりました。

この他にも、役場にかかる経費は数多くあり、見て直していかなければならない分野も多数残されています。見直しの状況については順次皆様にご報告してまいります。

今後も、厳しい財政状況が続くことからこれまで以上に無駄をださないよう心がけ、経費の節減に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 平成17年度 上期松崎町役場経費の節減状況

	電話料金	空調用 灯油料金	水道料金	電気料金	郵便料 宅配料	コピー料金	合計
平成16年度	862,512円	1,182,219円	190,490円	3,940,408円	3,916,320円	2,364,804円	12,456,753円
平成17年度	862,258円	957,310円	166,640円	3,286,330円	3,767,875円	1,121,565円	10,161,978円
前年対比	-254円	-224,909円	-23,850円	-654,078円	-148,445円	-1,243,239円	-2,294,775円
	99.97%	80.98%	87.48%	83.40%	96.21%	47.43%	81.58%

# 全国案山子コンテスト



五・十六の両日行われた収穫祭において投票が行われ入賞作品が決定しました。入賞者には副賞として棚田米が贈られます。

## 【名誉村長賞】

松本 昭雄（松崎町石部）

## 【村長賞】

高橋 正子（松崎町石部）

## 【優秀賞】

高橋 ヤス江（下田市）

## 【入選】

高橋 はるみ（松崎町石部）

石部棚田で「第一回石部赤根田村全国案山子コンテスト」が開催され七十三点の応募作品が集まりました。

コンテストは、石部の棚田をアピールすると共に、都市と地元の交流拡大に役立てよう企画されたものです。

応募作品は、棚田のあぜ道に展示され収穫期の棚田をいぎやかに演出しました。

十月七日に審査員による審査が行われたほか、十月十五

# 岩科地区女性会記念誌発行

岩科地区女性会（高橋そめ子会長）では、活動六十年を迎えた同会の足跡を綴った記念誌「たんぽぽ」を作成し、地域の区長や会員に配布しました。

昨年度進められた町村合併協議を区切りに現在までの活動を振り返り、その足跡を残そうと、昨年から作業が進められていたもので、歴代会長の一覧や活動紹介、OGや会員から寄せられた思い出や今

後への期待が記されています。題名の「たんぽぽ」は、会だけでなく地域も含めた助け合いの精神を象徴して名づけられました。

同会では、平成十三年から

三年間子育てサポート事業に取り組んだほか、今年度から地域の健康維持活動として「たんぽぽサークル」を結成し、湊病院の出前講座「大腰筋体操教室」に取り組むなど、活発な活動を続けています。

花いっぱい運動の目玉として実施しております那賀の花畠も六年目を迎え、今年も約五万平方㍍の水田提供について耕作者の皆さんのご協力をいただきました。

いただきました。

今回まかれる花の種の種類は6種類で総量は約七十六㌃。昨年同様シルバー人材センター会員に種まき作業をお願いし、来年三月から四月にかけ、順次開花する予定です。



# 那賀 大規模花畠

開花期間中は、誘導員等を要所に配備し、交通整理や来場者の案内、清掃作業などに当たります。

来年の春どんな花が咲くのか楽しみに待っていてください。

## 【一般審査の部最優秀賞】

和田勝三・和子

（東伊豆町）

## 【子供の部優秀賞】

指出 遼（岩科幼稚園）  
井手 伸晃（三浜小五年）  
三浦小学校三年生

## 【一般審査の部最優秀賞】

和田勝三・和子

（東伊豆町）





# まちのできごと

## 雲見温泉 海賊料理まつり



## 小野田さん 講演会

十月九日（日）、雲見海岸で恒例の海賊料理まつりが開催されました。あいにくの雨模様となりましたが、重さ約百五十キロのカジキマグロを鯨に見立てた献上儀式の再現セレモニーには、三百人近い観客が集まりました。

セレモニー終了後、カジキマグロが豪快に解体され、刺身として振舞われた他、海鮮バーベキューやイセエビの味噌汁も振舞されました。

十月九日（日）、雲見海岸で恒例の海賊料理まつりが開催されました。

十月十八日（火）、環境改善センター文化ホールで、生涯學習セミナーとして小野田寛郎氏の講演会が行われました。

十月二十三日（日）、松崎小学校でふれあい広場が開催され、多くの人出で賑わいました。

## ふれあい広場

十月二十三日の新聞記事によると、室岩洞沖に張られた定置網が五十メートルに渡って破られていた。何で網が破られたのか？ 巻網漁船ではないかと思えるような記事であった。

ふれあいの輪を広げ、福祉に対する理解を深めていたただこうと、毎年この時期に社会福祉協議会が開催しています。

会場では、恒例のバザーや福祉施設の展示ブースの他、消防署員による倒壊家屋からのけがんた事として話されました。

## 漁業権

九月二十三日の新聞記事によると、室岩洞沖に張られた定置網が五十メートルに渡って破られていた。何で網が破られたのか？ 巻網漁船ではないかと思えるような記事であった。

漁業関係者で話し合い等を行つて、お互いの操業領域を遵守して指定区域内での操業を心がけ、海洋資源の保護を考えいくべきではないかと思った次第です。

卷網漁船による被害がどうかは定かではないが、最近巻網漁による被害が取り沙汰されており、ごく海岸近くまで来て強力なライトで魚を誘導して集め、網で大量に捕獲する漁法は、沿岸漁業にも多いに影響があると考えられる。

松崎町長 深澤進

先般、御前崎市の方々との懇談会で、御前崎周辺でも「しらす漁」などがこの影響を受けて不漁とのことであった。

また、駿河湾は昔から魚の宝庫であると言っているが、生態系まで変

## 町長室からこんにちは ④



# 21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

## 町の人口と世帯

(平成17年10月1日現在)

( ) 内は前月比

総人口	8,576人	(-10人)
男	4,085人	(-1人)
女	4,491人	(-9人)
世帯数	3,147戸	(+1戸)
転入	14人	転出 20人
出生	2人	死 亡 6人

広報まつざき

二〇〇五年十一月一日発行  
第49号

## 町の交通事故

平成17年10月15日現在

( ) 内は前年対比

人身事故	40件	(-6)
物損事故	102件	(-9)
死者	0人	(±0)
傷者	53人	(-9)

高齢者には一部公費負担します

町では対象者に問診票を送りますので、かかりつけの医師と相談し、必ず問診票に記入の上、受けて下さい。

本格的に流行する二週間前までに受けましよう。子どもさんの場合、他の予防接種との関係で調整が必要ですのでご注意下さい。

## 早めに受けましょう

六五歳以上の高齢者。慢性の病気を持つ人。これらの人と接する機会の多い人。

インフルエンザの予防策として、毎年流行する型を予測してワクチンを接種します。また、ワクチンの効果は長く続かないでの毎年受けることが必要です。

## 特に受けたほうがいい人

「五年」という一区切りを越えた双獅祭が、新たなる次代への「掛け橋」となるようになります。すると考えて出されたテーマです。そのため、「新たなる出発」をサブテーマにしていきました。松高祭からの伝統を受け継ぎながら、テーマに沿つて、今年も様々な発表がありました。

十年以上前から受け継がれているビッグパネルの展示もその一つです。全員参加の精神と文化祭への意識高揚を考えて始められた催しです。今年は、縦六メートル横八メートルほどのパネルを完成させました。絵は、全体のテーマに合わせ、アンリ・ルソーの「夢」にしました。開会式での吹奏楽部によるファンファーレの中、除幕されると、み

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
船田	ユキ 侑 矢	男	船津丈晴
石部	ソラ 空	男	松本義徳

## 戸籍だより

(9月分)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
桜田	山田和枝	77	延雄
大沢	関いま	87	敏之
八木山	加賀衛	81	主
江奈2	斎藤喜一郎	81	義治
岩地	斎藤禮之助	88	博幸
岩地	斎藤さち	87	傳吉

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

毎年十一月の下旬頃から流行しはじめるインフルエンザですが、予防するにはうがい等の他に予防接種があります。

## 毎年受けましょう

# インフルエンザの予防策

保健師だより

## 学校ひろば

(53)

松崎高等学校

四二一〇一三一

十月一日秋晴れの中、松崎高校では第六回双獅祭を開催し、二日には一般公開しました。今年のテーマは、「未来への掛け橋」THE STARTING POINTです。

今年も多くの皆さんにご来校

いたとき、好評のうちに終了することができました。御礼申し上げます。

さて、松高生は文化祭だけでなく、学習や部活動にも励んでいます。文化祭の準備のかたわら、秋の新人戦に向けて練習にも励んできました。その成果が楽しみな十一月です。

みんなの思いをのせた「夢」が校舎の一面に広がりました。このビッグパネルをはじめ各クラス及び部活動の力作が披露され、二日の一般公開では、今年も多くの方々にご来校いただきました。御礼申し上げます。

